

授業に紙面活用探る

本社でセミナー 小中教員ら実践



新聞の中から気になった見出しを切り抜く
参加者＝30日、福井新聞社・プレス21

新聞を活用した教育方法を
知ってもらおうと、県NIE
教育研究会は30日、本年度第
1回NIEセミナーを福井新
聞社・プレス21で開いた。参
加者はオリジナル新聞作りな
どを通し、表現力や会話を
培う手だてとして新聞が有効



であることに理解を深めた。
小中学校の教員ら8人が参
加。福井新聞社の徳島泰彦N
IEコーディネーターが講師
を務めた。

「言葉の貯金箱」と題したワ
ークショップでは、新聞から
気になった見出しを切り抜
き、レイアウトを考えながら画
用紙に貼り付けた。福井市殿
下小の竹内恵美子教頭は「本
当に幸運」「すばらしい仲間」
などの見出しをちりばめて
「自分の人生を振り返った」
新聞を完成させた。徳島コーデ
ィネーターは「簡単にできる
言葉遊び。学活や国語の時間
に取り組み、語彙力や表現力を
育ててほしい」と呼びかけた。

このほか、2人1組になり、
この日の福井新聞の紙面から
気になった記事を選ぶととも
に、相手を選んだ記事を予想す
るワークショップも実施。「サ
ッカーW杯の日本―ポーラン
ド戦の賛否ある戦術は道徳の
教材に使えるぞ」「自閉スペク
トラム症治療に関する話題は
興味深い」など、新聞を題材
に会話が盛り上がった。

終了後、越前町糸生小の木
下孝治教諭は「自分を表現し
たり、コミュニケーションを
深めたりするツールとして新
聞が使えるという点に気付
いた。学校でも実践してみたい」と話していた。(宇野和宏)